様式２

平成28年度　地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告
（各交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値等）

都道府県名	福島県	担当部局課名	総務課			
市町村名	浅川町	担当者氏名	高野喜寛			
都道府県・市町村コード（5桁）	07504	連絡先	電話	0247-36-4121	メールアドレス	soumu@town.asakawa.fukushima.jp

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位：円	④ 本事業における重要業績評価指標（KPI）					⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標		指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	若者定着、元気高齢者総活躍社会づくり事業 「事業概要」 元気高齢者が長年培ってきた経験豊富な水稲、野菜栽培、加工技術は蓄積されており、これらの技術を活用することにより若者への学ぶ機会を与え後継者づくりと世代間交流を目指す。また、昔ながらの「みそ」「漬物」の加工製造・販売により地元農産物の良さを再認識し、地産・地消を進め循環型の地域社会形成と地域の活性化を図る。さらには、自家用車を持たない買い物弱者等への対策とした移動販売車の導入、巡回バスの運行を図ることにより、販売所までの一定ルートが確保され小さな拠点を結ぶまちづくりを目指す。	推進交付金1次	5,436,720	指標①	農産物加工製造・販売従事者登録者数	2	人	平成29年3月	0	③地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・どのような事業を実施するにも調査は大切なので有効であったと思います。 ・若者を定着させるために、元気高齢者との交流する会やボランティア団体があると具体的に実施できるヒントが活動する中で見つかるかもしれない。 ・高齢化社会での移動手段について考えていかなければならない時に来ています。中山間地域における高齢者の生活が閉鎖的になり、健康で文化的な生活が望めなくなります。巡回バスまたはタクシー券などの対策が望まれます。 ・浅川町の経済は農産物であり、それに伴う後継者の確保育成が急務であると思う。耕作放棄地を解消するには価格の安定が第1かも。 ・農産物直売所が必要。 ・今後もニーズ調査と分析を継続し、時代の要請に応えられるよう願います。 ・買い物バスの運行等提案、是非実施してほしい。 ・関係者の努力はみられますが、商工会全体の取組を期待します。 ・効果は出ないが地道に活動し事業概要に沿って進めてい頂くように。	事業の継続	初年度によるニーズ調査の実施であったため、評価指数値(KPI)の登録者までには至らなかったが、農産物加工製造・販売ニーズ調査では、生産者側と消費者側の両方でのアンケート調査を実施し、生産者側では36%が「販売したい」、消費者側では69%が「購入したい」との結果があり、一定のニーズ調査結果が得られた。また、小さな拠点づくり調査事業では、事前に実施した利活用の意向調査回答者18名のうち、6名が今後の空き家バンク事業として利活用を希望したいとの調査結果が得られた。巡回バス運行ニーズ調査では、町内の70歳以上の高齢者200名及び民生委員18名にアンケート調査を実施し、72%の高い回答結果が得られ、そのうち58%が巡回バスを利用したいとの回答結果が得られた。これらの各ニーズ調査結果に基づき、平成29年度以降の目標達成に向け各事業の継続実施が必要である。
				指標②	農産物加工品販売所来場者数									
				指標③	農産物加工品販売売上額数									
				指標④										
				指標⑤										
1-1	事業内訳 「農産物加工製造・販売ニーズ調査事業」 実際に求められる昔ながらの「漬物」「みそ」等の加工製造及び販売に関するニーズ調査の実施。		1,425,600											
1-2	「小さな拠点づくり調査事業」 （空き店舗等利活用） 各地域の拠点となる空き店舗、空家等の利活用調査の実施。		2,005,560											
1-3	「巡回バス運行ニーズ調査事業」 買い物弱者のニーズ調査の実施。		2,005,560											